

若山牧水賞選考委員の交代について

総合政策部みやざき文化振興課

佐佐木幸綱氏の選考委員退任に伴い、第31回若山牧水賞より選考委員が交代となります。

新選考委員

俵 万智 氏

新体制は以下のとおりとなります。

選考委員

高野 公彦 氏 栗木 京子 氏 伊藤 一彦 氏 俵 万智 氏

特別顧問

岡野 弘彦 氏 馬場 あき子 氏 佐佐木 幸綱 氏

若山牧水賞選考委員の交代について

総合政策部みやざき文化振興課

俵 万智 氏 プロフィール



俵万智（たわらまち）歌人
早稲田大学卒。1986年、作品「八月の朝」で
第32回角川短歌賞受賞。
1987年、第一歌集『サラダ記念日』を出版、翌年、
『サラダ記念日』で第32回現代歌人協会賞受賞。
2004年 評論『愛する源氏物語』で第14回紫式部文学賞受賞。
第四歌集『プーさんの鼻』で2006年 第11回若山牧水賞受賞。
歌集の他、評伝、エッセイなど著書多数。
最新刊は『生きる言葉』。

若山牧水賞選考委員の交代について

総合政策部みやざき文化振興課

俵 万智 氏 就任コメント

選考委員を引き受けることになり、身の引き締まる思いです。牧水賞に大きな励ましをもらった者の一人として、その恩返しができるばと思っております。

私が牧水賞をいただいたのは、第四歌集『プーさんの鼻』でした。二十代の『サラダ記念日』『かぜのてのひら』、三十代の『チョコレート革命』に続く八年半ぶりの四十代の歌集です。テーマや歌の詠みかたに変化が生じた歌集でもあり、不安もありましたが、「それでいいんだよ」と背中を押していただいたように感じました。

県をあげて歓迎してくださる温かい受賞式も心に残っています。なかでも、坪谷小学校の児童のみなさんによる牧水短歌の朗詠には、思わず涙してしまいました。

その後、縁あって宮崎に住むことにもなり、長年あたためていた『牧水の恋』についても一冊の本を上梓できました。宮崎ファン、牧水ファンとしては、今回ますます縁が深まることを嬉しく思っております。

これまでの選考委員のかたがたのおかげで、牧水賞は歌壇の内外において、注目され定評のある賞に育ちました。賞の名にふさわしい歌集を、しっかり見極めていきたいと思っております。 俵万智